

高音質ステレオプリアンプ組立キット WP-SSPA01

組立説明書 ver.1



■主な仕様

- ・電源電圧 AC100V(50/60Hz)
- ・入力 ラインレベル 3系統
- ・出力 ラインレベル 1系統
- ・入力インピーダンス 10kΩ
- ・外形寸法 幅 230mm 高さ 70mm 奥行 200mm (突起部は含まず)
- ・重量 2.5Kg

■必要な工具

- ・ハンダこて
- ・ニッパー
- ・ピンセット
- ・マイナスドライバー(刃幅3mm)
- ・ハンダこて台
- ・ワイヤーストリッパー
- ・プラスドライバー(1番)(2番)

■お断り

- ・本製品は組立キットです。作業中の安全確保のため説明書をよくお読みになり、正しい工具の使用・手順を守ってください。
- ・完成品でない製品の性格上、組み立て後にお客様が期待される性能・品質・安全運用等の保証はできません。完成後はお客様(組立作業)ご自身の責任のもとでご使用ください。
- ・本製品は機器への組込み他、工業製品としての使用を想定した設計は行っておりません。また本製品に起因する直接、間接の損害につきましての補償には応じられません。
- ・本製品の組立サポート(組立代行)は承っておりません。
- ・配線ミスによる故障、動作不良に関しては有償修理となります。電源を入れる前に配線間違いがないか入念にチェックしてください。
- ・各基板やパーツ類は個別販売しておりますのでお客様ご自身で交換修理も可能です。

販売元：共立電子産業株式会社 共立プロダクツ事業所

〒556-0005 大阪市浪速区日本橋5-8-26

TEL 06-6644-4447 FAX 06-6644-4448

●配線をします

- ・慣れておられる方は自分流の配線をお楽しみください
- ・裏ページの「全体配線図」を参考にしてください
- ・初心者の方は、この説明書に従って作業していただきますと間違いなく完成させることができますと思います

① RCAジャック⇒ロータリースイッチの配線をします

①-1「プリアンプ基板」を取り外します



①-2「ミューティング基板」を取り外します



①-3「シールド線」の加工をします

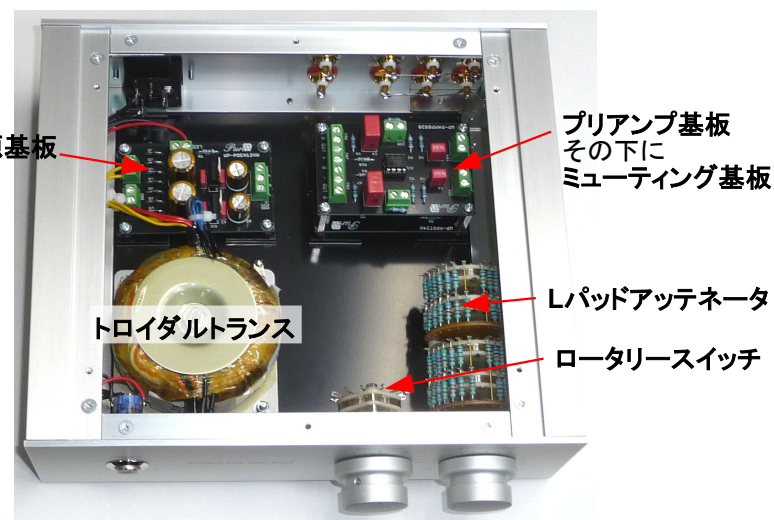
- (1)「シールド線」を250mmの長さにカットします(6本)
- (2)「シールド線」の先端を加工します(6本の片側すべて)



●アンプキット本体内部と付属パーツの確認をします



トップパネル(天板)のネジ(6本)を外します

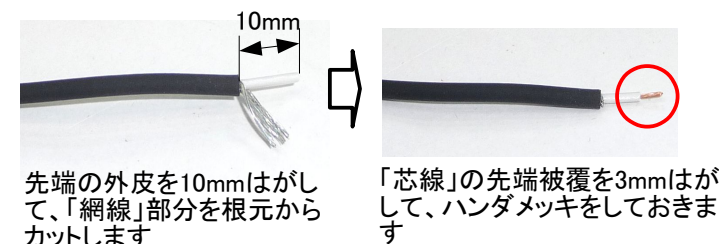


すべてのパーツは取り付け済みです

付属パーツは下記4点です



(3)「シールド線」のもう片方の先端を加工します(6本すべて)



(4)「シールド線」6本の加工が終わりました



(5) 誤配線を防ぐため「マーキング」をしておくことをおすすめします・・・(R)側を「赤」に、(L)側を「白」に

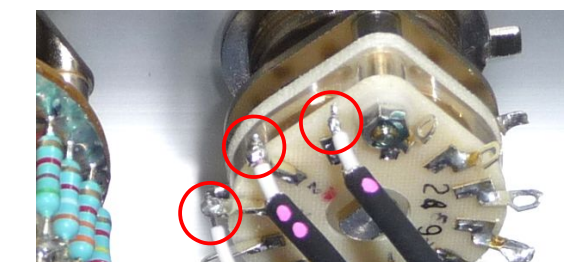


①-4「シールド線」を「RCAジャック」に配線します(R側)



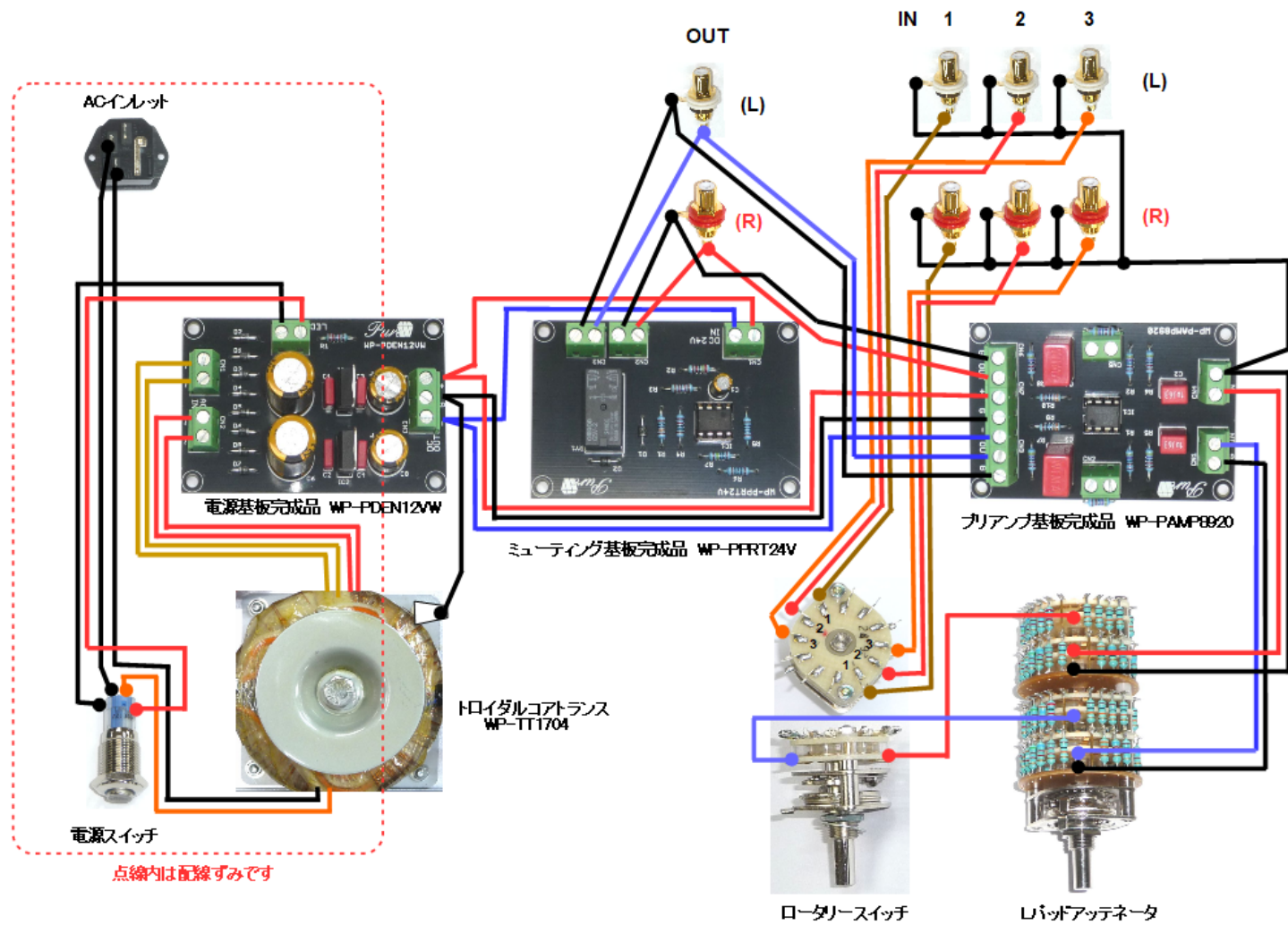
ハンダ付けのしかたは次ページをご覧ください

①-5「シールド線」のもう片方を「ロータリースイッチ」に配線します



「組み立て」および「配線」の全工程をカラー写真で詳しく解説しています (A3×3ページ)

●全体配線図



●フロントパネルの操作方法および他の機器との接続のしかた

【フロントパネル】

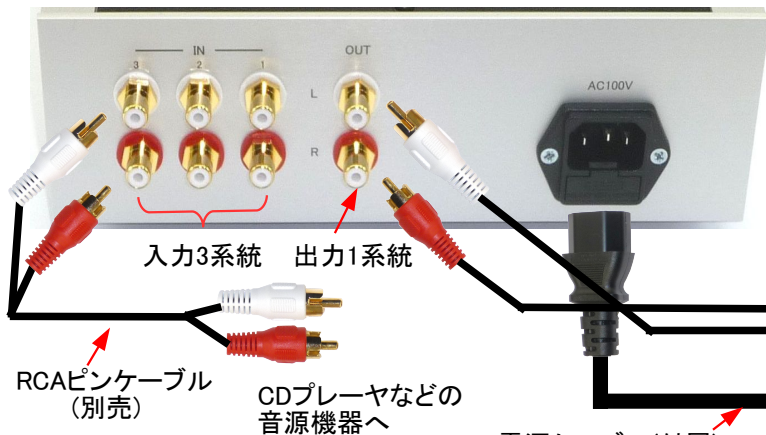


電源スイッチ
ボタンを押すと「ON」
もう一度押すと「OFF」
(ミューティング機能により、電源スイッチON後、約3秒は音が出ません)

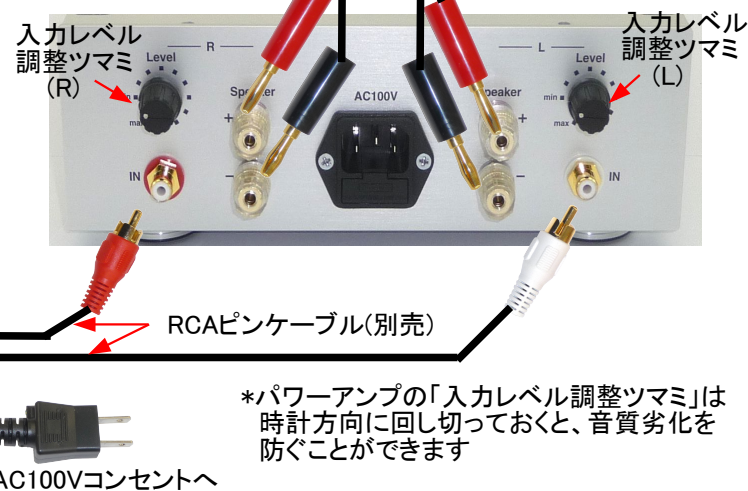
入力切換えツマミ

音量調整ツマミ

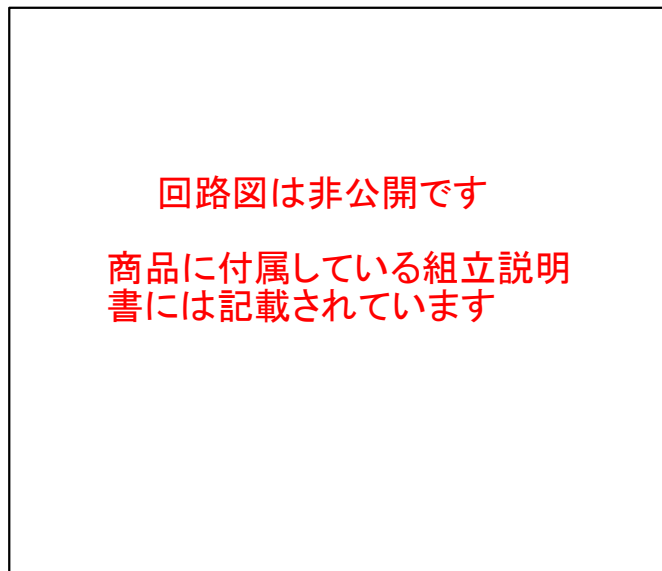
【リアパネル】



【パワーアンプ】

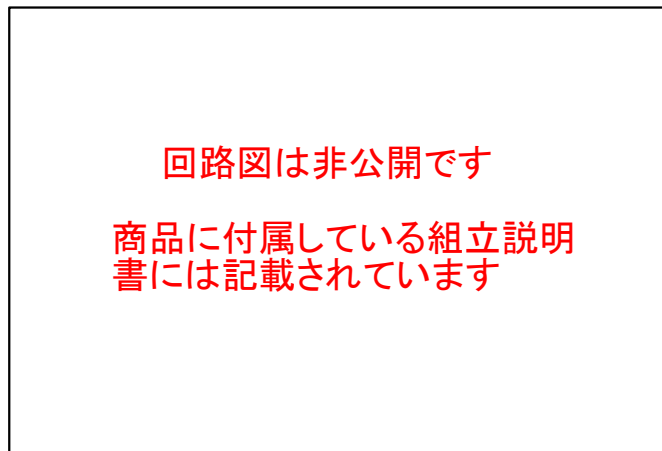


●プリアンプ基板の回路図



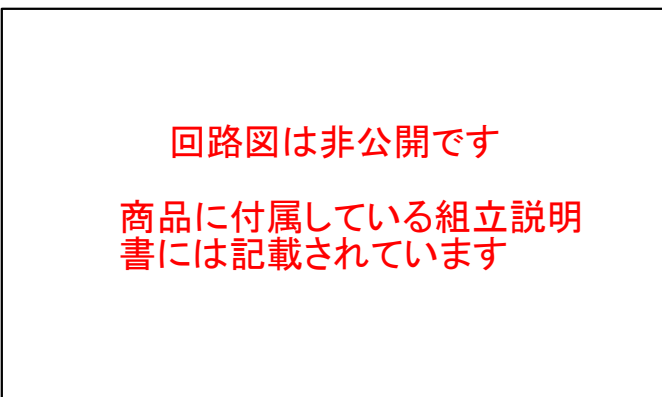
ネジ端子の抵抗(R3)および(R4)を変更することによりゲイン(利得、増幅度)を変更できます。
ゲインは次式で計算できます。
ゲイン(L)=R3/R1+1 ゲイン(R)=R4/R2+1
この基板には(R3)および(R4)に4.7kΩが付属していますので4.7/4.7+1=2 (ゲイン2倍⇒6dB)になります。
(R3)および(R4)を交換されるときは4.7kΩ～47kΩの範囲を推奨します。
(ゲインを大きくすると発振防止などの対策を施す必要があります)

●ミューティング基板の回路図

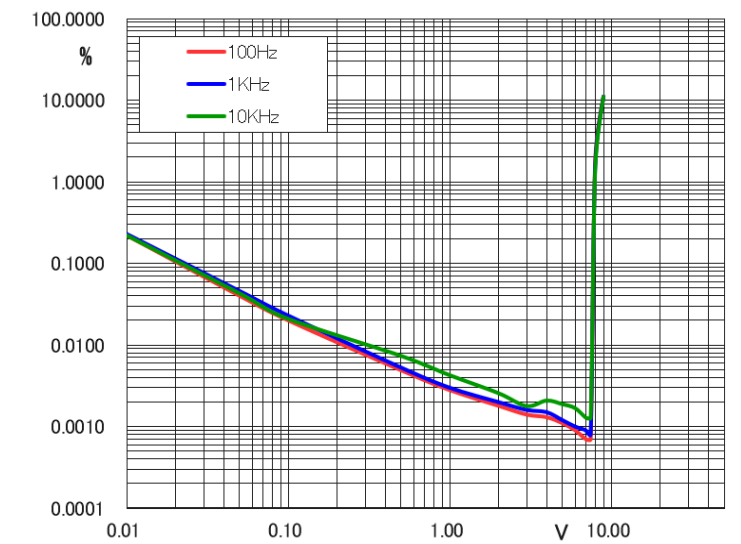


電源ON後約3秒でリレーが動作して出力回路がONになります
電源OFF時は瞬時に出力回路をOFFにします
これにより電源ON-OFF時のポップノイズを防止します

●電源基板の回路図

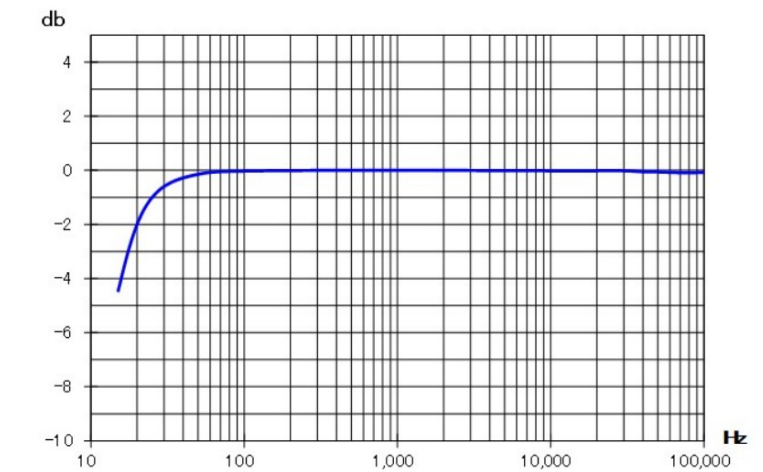


●出力歪率特性実測例



1kHz 7V出力時の全高調波歪率(THD)は0.0008%という超低歪を実現しました
常用する出力2V時でも0.002%という超低歪になっています

●周波数特性実測例



一般的には、1kHzを基準にして-3dBの範囲を表しますので、それによりますと18Hz～100kHz以上ということになります